

令和 5 年度 西宮市公共事業評価シート

【自己評価結果】

実施予定年度	R 3 年度 ~ R 11 年度	〔新築〕			
事業名	山口南幹線整備事業		実施箇所	山口町上山口外	
担当部署	局	土木局	部・室	道路部	課
					道路建設課
総合計画	政策	第V部 環境・都市基盤、安全・安心		①道路ネットワークの形成	

事業の目的・内容	<p>〈事業実施の背景となる問題・ニーズ〉</p> <p>山口南幹線は、都市計画幅員32mのうち半分の16mを2車線で暫定供用されている。沿線では、神戸市側にて大型物流倉庫の開発事業が進められており、2車線道路の設計基準交通量を上回る将来交通量が見込まれている。また、開発事業に合わせて神戸市側の道路は4車線化される計画であり、当該道路においてボトルネックとなることから道路の拡幅整備が求められている。</p>																		
	<p>〈対象〉</p> <p>道路を利用する自動車及び歩行者・自転車や沿線地域住民等</p>																		
	<p>〈成果(対象をどのような状態にしたいか)〉</p> <p>山口南幹線を全面整備し4車線化することにより、渋滞の発生を抑制するとともに、西宮市北部地域における幹線道路ネットワークの強化、地域の道路交通の円滑化、利便性や安全性の向上を図る。</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名(代表的なもの)</th> <th>最終目標値設定の考え方・根拠</th> <th>目標年度</th> <th>単位</th> <th>現在値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県道大沢西宮線(上山口交差点)～神戸市境の走行時間</td> <td>県道大沢西宮線(上山口交差点)～神戸市境において、交通量が増加した際にかかる走行時間の短縮</td> <td>令和11年度</td> <td>秒</td> <td>132</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値	県道大沢西宮線(上山口交差点)～神戸市境の走行時間	県道大沢西宮線(上山口交差点)～神戸市境において、交通量が増加した際にかかる走行時間の短縮	令和11年度	秒	132	99						
	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値													
	県道大沢西宮線(上山口交差点)～神戸市境の走行時間	県道大沢西宮線(上山口交差点)～神戸市境において、交通量が増加した際にかかる走行時間の短縮	令和11年度	秒	132	99													
	<p>計画概要</p> <p>&lt;事業概要&gt; 山口南幹線を全面整備し4車線化する。(南に16m拡幅) 事業期間 : 令和3年～令和11年 計画延長 : L=1,380m 計画幅員 : W=32m</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月または年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度以前</td> <td>基礎調査、県用地協議、道路概略設計、公共事業評価、街路事業認可、道路詳細設計</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>用地測量・物件調査、道路工事</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事</td> </tr> <tr> <td>令和11年度以降</td> <td>用地買収・物件補償、道路工事</td> </tr> </tbody> </table>	年月または年度	取組内容	令和5年度以前	基礎調査、県用地協議、道路概略設計、公共事業評価、街路事業認可、道路詳細設計	令和6年度	用地測量・物件調査、道路工事	令和7年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事	令和8年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事	令和9年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事	令和10年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事	令和11年度以降	用地買収・物件補償、道路工事		
	年月または年度	取組内容																	
令和5年度以前	基礎調査、県用地協議、道路概略設計、公共事業評価、街路事業認可、道路詳細設計																		
令和6年度	用地測量・物件調査、道路工事																		
令和7年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和8年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和9年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和10年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和11年度以降	用地買収・物件補償、道路工事																		
スケジュール																			
年月または年度	取組内容																		
令和5年度以前	基礎調査、県用地協議、道路概略設計、公共事業評価、街路事業認可、道路詳細設計																		
令和6年度	用地測量・物件調査、道路工事																		
令和7年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和8年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和9年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和10年度	用地測量・物件調査、用地買収・物件補償、道路工事																		
令和11年度以降	用地買収・物件補償、道路工事																		

事業計画	予定事業費	1,567,000 千円	左記の内 国県支出(千円)	757,000	起債+一般財源(千円)	810,000
	事業による経済効果等	<p>費用便益比(B/C) = 2.17 【国の指定算出方法に準拠】(算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路拡幅に伴う交通容量増大で、当該道路の渋滞解消が期待でき、走行時間が短縮する。</li> <li>渋滞解消によって燃費が向上し、走行経費が改善される。</li> <li>車道拡幅及び中央分離帯の設置によって交通事故減少が期待できる。</li> </ul>				

必要性	自己評価のとおりであるが、隣接自治体の事業により、自動車交通量の増加(特に貨物車交通量)が予想され、近隣住民の生活への悪影響が考えられるため、本事業は必要であると考えられる。
合理性	自己評価に記載のとおりで問題ない。
規模・位置・構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の幅員構成については、自転車の通行の可否などを検討し、精査していただきたい。その際、自転車の交通量調査などのデータがあればより望ましい。</li> <li>歩道の整備については、透水性舗装だけに頼らず、排水計画なども検討していただきたい。</li> </ul>
環境保全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡幅に伴う走行時間の短縮効果については、様式3号(自己評価)に記載のとおり。</li> <li>CO2の発生量予測については絶対値(with-without分析に加え、before-after分析)での比較が必要である。</li> </ul>
機能性	歩道の機能については、周辺住民の利用の仕方などを考慮して適切な構造となるよう引き続き精査していただきたい(歩道の勾配、交差点におけるユニバーサルデザインなど)。
懸案事項等	<p>事業を実施しない場合の懸案事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神戸市側の大規模物流倉庫の開発事業に伴い、交通量は増加することに加え、開発事業に合わせて神戸市側の道路は4車線化される計画であり、当該道路はボトルネックとなることで渋滞が慢性化する。</li> <li>渋滞による速度低下に伴い、経済損失及びCO2等の排出量が増大するほか、物流コストも増加する。</li> </ul>
	<p>事業を実施した場合の懸案事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通容量増大や走行速度の上昇に伴い、渋滞のエンジン音は無くなるが、交通量の増加によって車両の走行音が増加する可能性がある。</li> <li>道路拡幅に伴い、用地買収・物件補償が必要となる。</li> </ul>

令和 5 年度 西宮市公共事業評価シート

事業名	山口南幹線整備事業
-----	-----------

【委員会評価結果】

[ 1:計画どおりの実施が望ましい 2:計画の一部見直しが望ましい 3:計画の大幅見直しが望ましい 4:実施の見送り、中止が妥当である ]

評価委員会の総合判断	1	計画どおりの実施が望ましい
	評価委員会の総合的な意見	
	事業の必要性、妥当性は認められる。 事業の実施にあたっては、本評価シートに記載の事項及び答申に留意しながら進めていただきたい。	